



## 平和学習「語り部の会」の開催を機に

校長 松田 清悦

令和6年12月現在、世界中の人々が平和を希求していながら、ロシアとウクライナ、ハマスとイスラエルの戦争は終わりが見えません。

私の亡母の誕生日は8月15日です。太平洋戦争の終戦記念日であり、「戦没者を追悼し平和を希求する日」です。来年、2025年で終戦から80年を迎えます。年々、第二次世界大戦を直接知る世代は減少しています。勝ち目はないと予想できていながら、なぜ日本は戦争へと突き進んでいったのでしょうか。私は、戦後20年（昭和40年）生まれです。小・中・高と社会科で太平洋戦争について学び、また、いろいろな書物も読みましたが、ベールに隠された真実は、未だに理解できていません。昨年、「ゲンバクとよばれた少年」を読み、嗚咽しました。今更ながら、録りためていた戦争映画やテレビの特別番組を見ながら考えています。

幼少の頃、祖父の弟から満州で人を殺めたことを聞きました。義伯父は晩年、何百体もの仏像を彫っていました。太平洋戦争における日本の死者は、合わせて310万人。日本が侵略したアジア諸国での死者は1800万人に上るとされています。日本人が大好きなハワイのアリゾナ記念館では、今でも漏れ出る油が海面に浮き出しています。日本は被害者であり、加害者でもあります。

それなのに、ウクライナやガザの残酷な映像が流れている中で飲食し、戦闘機の航空ショーで驚嘆の声を上げている自分がいます。

現在、様々なメディアからたくさんの情報が発信されています。対岸の火事として見過ごすことなく、確かなメディアリテラシーをもって真実を見つめ、想像したくはないのですが、あえて日本が有事に巻き込まれたときの自分のとる態度を予測し、行動しなければならないと自戒しています。

### 「たくさんのご支援に感謝申し上げます」 ～令和6年度河辺中学校支援協議会協賛金～

今年度も「河辺地域の子どもたち」を支える教育活動の振興に対する財政的な援助のため、本協議会への協賛をご依頼申し上げましたところ、各町内の皆様より多大なるご賛同を賜ることができました。また、今年度は企業や個人からもご賛同を賜り、12月20日現在で437,600円となっております。

町内会長様はじめ、地域の皆様方からのご厚意に対しまして御礼申し上げます。教育活動の推進に当たって、皆様方からの協賛金は、経済的な支援としてたいへん有り難く、また、地域からの応援を実感できる精神的な支えとして励みになっております。

皆様からいただいた協賛金は、今年度については、各部活動の用具の購入費や修理費として有効活用させていただきます。予定です。

河辺中学校支援協議会  
会長 高橋 孝 一  
河辺中学校PTA  
会長 三浦 慶 恵  
河辺中学校  
校長 松田 清悦



### 平和学習

#### 「語り部の会」

令和6年12月10日

秋田市戦没者遺児  
伊藤 薫 様

「恒久平和のために何ができるか」

#### ●戦争は全てを犠牲にする

戦争は全てのことを犠牲にする。戦争に勝つことが最優先となり、食べることも、勉強することも、日常生活の全てが犠牲になる。学校は、お国のために戦う立派な兵士を育てる場となる。殺人の方法まで教育され、洗脳されていく。これは恐ろしいことだ。

#### ●土崎空襲で戦争の恐ろしさを実感した

昭和20年8月14日夜、土崎方面の空が真っ赤に染まった。B29の爆撃によるものすごい音が鳴り響いた。心の底から恐怖を感じた。翌日、終戦となり大人たちは玉音放送に泣いていたのを覚えている。

#### ●平和のために私たちができることは……

- ・差別しないこと～相手のことを考えることが大切
- ・話をよく聞くこと～相手の考えを理解することが大切
- ・話し合いで解決すること～時間がかかるかもしれないが話し合いで解決する努力をしなければならない。

#### ●争いが起きないようにするために……

- ・他国のこと、他国の人々のことについて、交流を通してよく知ることが大切～文化、歴史、言葉など違いを受け入れ理解することが争いをなくすことにつながる。
- このことは、普段の生活で、友達関係でも言えること。同じ日本人でも考え方は人によって違うのだから……。

# 河辺中学校生徒の活躍(作品応募、部活動等)

## 作品応募

- キャンパス全国アートアワード2024  
入賞 3年 鈴木 仁菜さん
- 第74回社会を明るくする運動作文コンテスト  
佳作 2年 佐々木ひよりさん
- 令和6年度秋田市児童生徒作品コンクール  
短歌の部 秋田市長賞 3年 佐藤 江留さん  
川柳の部 優良賞 3年 山形幸士朗さん  
俳句の部 入選 2年 種村 心雪さん  
川柳の部 入選 2年 佐藤 壮真さん  
川柳の部 入選 1年 小松 葵花さん
- 第65回秋田市席書会  
半紙の部 銅賞 2年 浅野 玲奈さん  
入選 1年 佐藤 瑠奈さん

## ソフトテニス部

秋田市秋季大会  
団体 1-2 秋大附  
個人 1組が2勝し県大会へ  
県大会 個人2回戦進出



## サッカー部

秋田市秋季大会 5-0 秋田南  
0-1 秋田東  
男鹿クリスマスフットサル大会  
PK勝(山王) 2-0(城南)他



## バレーボール部

秋田市秋季大会 1-2 城東  
秋麗バレーボール大会出場  
稲村杯 Bブロック 1位



## バスケットボール部

秋田市秋季大会ブロック予選  
68-37御野場 47-51秋田西 他  
秋田市秋季大会 37-52秋大附



## 吹奏楽部

河辺地区開催のお祭りで演奏  
10/13 ポートピア河辺「わとわいちマルシェ」  
10/20 「河辺まるごと祭り」  
10/26 「ユフォーレ祭り」  
引退していた3年生も一時復帰し、後輩と共に頑張り、訪れた地域の方々に喜んでいただきました。



河辺まるごと祭り ↑  
←わとわいちマルシェ

各部への応援、ご協力  
ありがとうございました

## 地域のゴミ拾い&和田公園整備

10月8日、全校生徒による地域貢献活動として、河辺中学校、和田駅、市民センター周辺のゴミ拾い活動及び和田公園の環境整備活動を行いました。

日頃、お世話になっている地域のためにと、生徒たちは積極的にゴミ拾いや整備活動を行いました。愛護会や町内会の皆様、そして、活動中、生徒のためにと匿名でご奉仕をくださった地域の方、この場を借りて御礼申し上げます。



←ゴミ拾い活動



和田公園整備活動→

第2回常任委員会を開催します。  
開催日 令和7年1月18日

コロナ禍により、人が集まることを避ける傾向が強まり、その影響からか、PTAへの出席が少ないまま推移している現状があります。11月19日には三役会を開き、これからのPTAの在り方について検討しました。それを受け、常任委員会で、下記について決めていきます。

- (1) PTA役員削減について  
OPTA役員になることが負担となっている。責任と共に、役員会などへの出席で、更に負担が増える。  
○役員数を削減する方向で検討
- (2) 次年度以降のPTA総会の持ち方  
○平日は仕事の関係で休みを取ることが困難  
○土日や行事と併せての開催を検討
- (3) 2月のPTAの持ち方  
○土日の開催を検討  
○3年生にとっては中学校最後のPTAになるので、楽しい企画を検討(他の学年も)

つくすフェスティバルや学校祭、あいさつ運動などには多くの保護者の方々に来ていただき、感謝申し上げます。生徒だけでなく保護者や地域と共に創る学校を目指し、工夫を重ねていきます。